



第45回 OPERA研究交流セミナー
第41回 ISIT有機光エレクトロニクス研究特別室セミナー
第104回 未来化学創造センターセミナー



日時:2012年3月15日(木) 15:00-17:00

場所:九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究棟 3F会議室

【1】「技術の事業化プロセスと実現へ向けてのアプローチ」 加藤謙介

先進技術の事業化へ向けたアプローチについて、基礎的な概念と共に、その実現に必要な下記二つの考え方を紹介します。

(1)事業化のプロセス連鎖

開発技術を製品に適用させるまでのプロセスだけでなく、具体的なユーザーの取り込みを含めた「事業化のプロセス連鎖」、さらに「事業間プロセスの価値連鎖」までを設計することが、「技術の産業化」の推進に大きな効果を与えます。

(2)技術の適用経路の設定

期待された新しい用途市場は必ずしも順調に立ち上がるとは限らず、これに固執すると事業上の進展は膠着する場合があります。こうした状況では、複数の可能性に対するアプローチと阻害要因の構造化を通じて、技術の適用経路を設定することが事業化を実現する上で重要な施策となります。

【2】「組織連携と産業形成-有機EL分野における事例分析」 小関珠音

近年、経営資源を強化する手段として組織連携の重要性が高くなっています。多くの企業が組織連携に踏み切る背景には、単独での開発が困難となるほど技術が複雑化・高度化していること、また、市場や産業が急速にグローバル化していることなどがあります。今回は事例として、イーストマン・コダック、CDT(Cambridge Display Technology)、UDC(Universal Display Corporation)など、シーズを生み出した大学・企業が組成した組織連携、およびサムスンが市場を独占する中で日本企業が組成した組織連携を分析し、その様態と変遷に関する考察から産業形成に必要な組織連携の考え方について紹介します。

主催:九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究センター
:財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT)
共催:九州大学 未来化学創造センター